



## 【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名：秋田県バスケットボール協会	
場所：琴丘総合体育館(Aコート)	記入者：藤倉 修・鎌田 拓也	
チームA 十和田 (青森2位)	14-27 10-17 15-13 17-15	チームB 平鹿 (秋田1位)

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #8
	チームB： #4, #5, #6, #7, #9
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン ( 1-3-1 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )

第1ピリオド、予選リーグAブロックからの準決勝進出をかけた一戦は、十和田が1-3-1ゾーン、平鹿が2-2-1ゾーンプレスからのハーフコートマンツーマンで試合開始。平鹿は開始直後に#7金子がドリブルレイアップでゴールを決めると、#6柿崎#4齋藤が連続でジャンプシュートを沈める。十和田は苦しい時間が続いたが、#7中野渡の得点で勢いづき、#4和島のゴール下や#7中野渡の3P、#7中野渡のジャンプシュートで一気に9-6として、逆転に成功する。その後は平鹿のオフェンスが機能し、#5齋藤のインサイドや平鹿#9田中がバスケットカウントを決めて残り4分で11-9として再びリードをする。以降は互いに得点を上げる展開となるが、平鹿はターンオーバーから得たボールを連続得点に結びつけ、27-14として第1ピリオド終了。

第2ピリオド、十和田は#4和島のジャンプシュートや#8今泉のリバウンドシュートなどで追い上げを図る。対する平鹿はパスミスなどが続き、さらに差を広げるまでに至らない。残り3分27秒に34-20の14点リードとされた十和田はチャージドタイムアウトで攻守の立て直しを図ろうとするが、平鹿のマンツーマンディフェンスを切り崩せず、思うように得点を上げられない。平鹿はファウルトラブルで交代した#13國安がジャンプシュートを決めて勢いづく、#9田中も連続3Pを沈めて突き放す。残り1分10秒に再びチャージドタイムアウトをとった十和田だが、追い上げには至らず、44-24と平鹿の20点リードで前半を終了した。

第3ピリオド、十和田は#4和島#7中野渡らの積極的なドライブを中心に反撃を開始する。平鹿は十和田の1-3-1ディフェンスに対してインサイドとアウトサイド、速攻を交えたオフェンスでリードを維持する。十和田は運動量を豊富にして追い上げを図り、残り4分13秒で48-31とする。チャンスにシュートを決めきれない苦しい展開の平鹿は、#7金子がうまくあわせて得点するとリバウンドも支配し始める。ところが、平鹿#5齋藤が4つ目のファウルで交代すると、十和田は攻守にわたってインサイド中心の攻めを展開して得点を重ねる。残り2分13秒で50-34と追い上げられた平鹿がたまたまチャージドタイムアウト。直後に十和田が得点を上げて反撃が続くかに見えたが、平鹿は#13國安や#9田中の3P、#7金子のシュートで57-39として第3ピリオド終了。

第4ピリオド、平鹿は#7金子ジャンプシュートを決めて第3ピリオド終盤の好調さを維持する。十和田も#7中野渡が3Pを沈めて対抗するも、平鹿の冷静なボール回しとリバウンドで攻撃する時間を奪われていく。#13國安が再び20点差に広げると、その後は互いに得点を入れ合う試合展開となる。平鹿は残り4分頃から時間を有効に使いながらの攻撃でリードを保ち、ベンチスタートの#13國安が要所でいい働きをみせるなどし、予選リーグAブロック2勝を上げて準決勝進出を決めた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。